

1 馬頭観音

足助宿の入り口となっていた場所です。荷物の輸送が馬の背から荷車に代わり、いくつかの馬車組合ができると、この組合によって建てられました。馬頭観音の横には石作りの水槽があり、街道を往来する馬に飲ませていました。

2 足助大橋・巴橋（あいち橋の会）

知っていましたか？「足助大橋」「巴橋」は、昭和初期に当時最先端の技術「鉄筋コンクリート」で造られ、まさに足助の街の近代化を支えた名橋です。両橋の架設により街道は付け替えられ、次第に新たな街並みが形成されるようになりました。今も現役で地域の交通を支えています。普段、何気なく渡っている橋ですが、橋の下から見上げて見ていただくとその構造がよく分かります。

スタンプを押そう！



3 弘化2年の道標（パネル展示のみ）

1845年(弘化2年)に建てられた道標で、「右ほうらい寺道 左ぜんこう寺道」と彫られています。伊那街道(中馬街道)と鳳来寺街道の別れ道にあたる場所でした。

4 川の歴史（愛知・川の会）

足助商工会近くの中橋で足助川を渡河する伊那街道(中馬街道)は、三河湾から巴川へは舟運、その後は馬の背につないで塩が運ばれた道でした。足助川沿いに栄えた宿場は、川に面した町並にその名残があります。足助川が合流する巴川の支流は、人の手によって作られた秋の紅葉の名勝、香風溪を中心に二つ巴(うずまき)の形で流れます。また、巴川には、大正時代に開発された水力発電の歴史があります。

5 足助城

戦国時代に足助地方を領有していた鈴木氏が、15世紀後半から16世紀初頭に真弓山に築いた山城です。発掘調査に基づき、全国で初めて復元された山城は、現在、城跡公園足助城として整備されています。

6 マンリン小路

足助の町並みの中で、人気のフォトスポットです。1775年(安永4年)の大火の際に町並みが消失したことがあり、それ以来、隣の家に火が燃え移らないようにするため、このような小路が多く存在しています。

7 旧鈴木家住宅

足助の古い町並みのほぼ中央に位置し、地区内では屈指の規模を誇る町家です。屋号は紙屋で、元々は紙を扱っていましたが、その後、味噌や漆喰などの取引、新田経営にも関わっていました。2013年(平成25年)に重要文化財に指定された建物は、現在、主屋を一般公開し、足助を代表する商家の発展過程を見ることができます。

スタンプを押そう！



8 旧田口家住宅

江戸末期以前の建築とされ、足助の町家の特徴である高い天井、奥に長い屋敷構えなど、最も伝統的な外観を維持している町家の一つです。2015年(平成27年)に所有者である田口氏から豊田市へ建物が寄付され、現在は観光案内所として運営されています。屋号は萬屋で、江戸～明治中期までは製茶業、その後は菜種油・金物・肥料・石油の販売、大正中期には物資の輸送が馬から自動車に移り変わるのを受け、製油・ガソリンを扱うようになるなど、様々な品を扱っていました。

9 陣屋跡

1681年(天和元年)から明治維新まで足助村などを知行した旗本、本多家の陣屋跡です。明治維新後は、県の庁舎や足助町役場が設置されました。周辺からは、18世紀以降の遺物を中心に、それ以前の須恵器、中世の山茶碗、戦国時代の瀬戸・美濃窯産陶器などが出土し、陣屋跡遺跡と呼ばれています。

10 中馬館

1912年(大正元年)に建造された旧稲橋銀行足助支店社屋を利用し、1982年(昭和57年)に開館した資料館です。足助の商業・金融・交通・町並みの資料などの保存と展示を行っています。1977年(昭和52年)に建物を取り壊して駐車場にする計画が持ち上がったが、「足助の町並みを守る会」の活動により、保存・活用されることになり、この活動は足助の町並み保存活動に大きな影響を与えました。木造塗籠瓦葺き二階建ての建物は、明治から大正にかけての地方銀行の姿をよく残しており、愛知県指定有形文化財に指定されています。

スタンプを押そう！



11 お釜稲荷

足助領主だった本多家の守護神で、足助陣屋裏手にあった御陣屋稲荷を1955年(昭和30年)に移したとされています。直径2mの大きなお釜を祀っており、多くの人が食してもご飯に限りがないという伝説から、お参りすると食に困らないというご利益があると伝わっています。

12 城山沢砂防堰堤（豊田加茂建設事務所）

土砂災害警戒区域(土石流)の人家12戸及び市道を守るため、堰堤1基(有効高さ14.25m・幅47.1m)、渓流保全工(流路)139mの砂防堰堤として2012年(平成24年)に完成しました。

13 岩崎区域急傾斜崩壊防止施設（豊田加茂建設事務所）

土砂災害警戒区域(急傾斜)の人家15戸及び市道を守るため、待受式防護柵工231m・地山補強工1,033m²の急傾斜地崩壊防止施設として2017年(平成29年)に完成しました。足助の古い町並みと調和するよう、景観に配慮した工法を採用しています。

14 足助川（豊田加茂建設事務所）

2011年(平成23年)6月に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された足助の町並みに沿って流下する足助川は、旧・塩の道の復活、老朽化した積石護岸の保護、河川の親水性などを目的に、根固工と低水護岸を1995年(平成7年)までに整備しました。整備した右岸の根固工は、現在も散策道として地域の皆さまにご活用いただいています。

15 あゆみ橋（パネル展示のみ）

1991年(平成3年)2月に「100年まちあすけ記念事業」で整備された木製の橋です。

16 常夜灯

現在の足助の古い町並みの入り口、遠くの神や仏に毎日灯明をあげてお参りするための常夜灯は、火災防止の神として知られる秋葉山第権現(静岡県)を信仰する人々が、1799年(寛政11年)に建立しました。足助では1775年(安永4年)に大火事があり、この常夜灯が建立されたのは大火事から25年後でした。

スタンプを押そう！



歴史と地形から、愛知を知る。

ブラアイチ

In 足助

2024.5.26(日) まちあるきコースマップ

ブラアイチ in 足助をより楽しんでいただくために

- マップを参考に、各自のペースで歩いてください。
- コースは推奨ルートです。
- 説明スポット(裏面参照)では、説明員が随時解説を行います。
- 交通ルールとウォーキングマナーを守りましょう。
 - ・横に広がって歩かないでください。
 - ・草花や木の実などを取らないでください。
 - ・私有地への無断立ち入り、歩きながらの喫煙や飲酒はご遠慮ください。
 - ・ゴミのポイ捨てはせず、各自でお持ち帰りください。
 - ・記載コースの距離や所要時間は目安です。休憩時間や各施設での見学時間は含まれません。
 - ・ご自身の体力や体調等を考慮し、余裕をもってご参加ください。

SNSでも情報発信中!!



本日の参加特典

- スタンプラリーに参加された方には、ゴール地点で参加賞をプレゼント致します。併せて、アンケートのご協力をお願い致します。

スタンプラリー

スタンプを押そう！



このマークがあるところでスタンプを押そう！

4か所あるよ！



緊急連絡先

0565-62-0601

豊田市地域振興部足助支所

ブライチin足助 まちあるきコースマップ

- 2024年5月26日(日)
- スタート受付 10:30 / ゴール受付 15:00まで
- コース距離 約3.7km / 所要時間 約1.5時間

中馬街道を歩く 塩からうまれた 伝統的な町並みの散策

まちの今の姿には理由があります。普段何気なく見ている景色も、その背景にあるストーリーを知れば、これまでと違って見えてくるかも。台地、川、道、橋、建物…ぶらぶら歩いて、気づいて、知ってなるほど。地形と歴史からまちを知る。そんなまちあるきに出かけてみましょう！

- スタート/ 豊田市役所足助支所
- 馬頭観音
 - 足助大橋・巴橋 (あいち橋の会) スタンプ
 - 弘化2年の道標
 - 川の歴史 (愛知・川の会)
 - 足助城 の説明スポット
 - マンリン小路
 - 旧鈴木家住宅 スタンプ
 - 旧田口家住宅
 - 陣屋跡
 - 中馬館 スタンプ
 - お釜稲荷
 - 城山沢砂防堰堤 (豊田加茂建設事務所)
 - 岩崎区域急傾斜崩壊防止施設 (豊田加茂建設事務所)
 - 足助川 (豊田加茂建設事務所)
 - あゆみ橋
 - 常夜灯 スタンプ
- ゴール/ 豊田市役所足助支所

